

# 2025年に出たおすすめ本

福井県では、子どもの読書活動推進の一環として、乳幼児から高校生までの子どもの成長段階に応じた推奨図書を選定し、小冊子やリストの形で公開しています。

その番外編として、2025年に出版された本の中から、小学生のみなさんへおすすめしたい本を紹介します。

## 小学5・6年生～



### 白い虹を投げる

吉野万理子/著  
黒須高嶺/絵  
Gakken

野球のチームメイトだったヤヤと葉央。転校先のチームになじめないヤヤと、メンバーが減って試合ができなくなった葉央はメールで励ましあいます。そんなある日、「キャッチボールクラシック」という大会を知って…。さまざまな人の心をつなぐ「キャッチボール」の物語。



### 山に登る

星野秀樹/写真・文  
アリス館

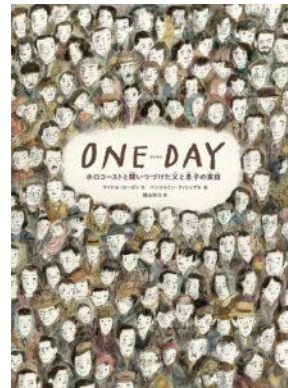
「ひと山こえたその先に、どんな風景がまっているんだろう」。いろいろな色におおわれた山の「ほんの一瞬だけ、見ることのできる色」を求めて、山に登ります。美しい四季の山々、険しい岩山など、雄大な自然が味わえる写真絵本です。



### ランドリーの迷子たち

シャネル・ミラー/作  
ないとうふみこ/訳  
ほるぷ出版

ランドリー店に残された片っぼだけのくつした。マグノリアは、くつしたの模様をヒントに、持ち主を探してニューヨークの街をかけ回ります。迷子のくつしたの先にはたくさんの物語や夢がありました。片っぼだけのくつしたから始まる、マグノリアのとびきりのひと夏の物語。



### ONE DAY

ホロコーストと  
闘いつづけた父と息子  
の実話

マイケル・ローゼン/文  
ベンジャミン・フィリップス/絵  
横山和江/訳  
鈴木出版

これは80年ほど前に起きた本当のおはなしです。ある日あるユダヤ人の親子がナチスに捕まりました。連れていかれた収容所では罪のないたくさんの人々が殺されました。親子は恐怖の中、日々をなんとか生き抜こうと仲間とトンネルを掘って逃げようとしますが…。

◆図書館・学校等の方へ ここで掲載している紹介文とキャッチコピーは、図書館や学校などでの子どもの読書活動に、自由に使用することができます。POPとして本の展示に使用するなど、読書活動にご活用ください。

◆小冊子とあわせてご活用ください 「子どもの成長段階に応じた推奨図書」小冊子（幼児編、小学生編、中学生・高校生編）は、各公立図書館で配布、また、生涯学習・文化財課のホームページにPDF形式で掲載しています。

◆小冊子・推奨図書リスト掲載ホームページはこちら

福井県教育庁生涯学習・文化財課ホームページ「子どもの成長段階に応じた推奨図書（中学生・高校生対象）」

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/syoubun/dokusyo/suishoutosho-tyuukousei.html>

◆問い合わせ先 福井県生涯学習・文化財課 0776-20-0559 syoubun@pref.fukui.lg.jp

